

学校法人 郷学舎
アルスコンピュータ専門学校

平成 26 年度版
情報公開資料

The logo consists of the letters 'ARS' in a bold, green, sans-serif font. The 'A' and 'R' are connected at the top, and the 'S' is positioned to the right of the 'R'.

<目次>

大項目	項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	① 学校基本情報（法人名、理事長名、校長名、所在地、連絡先等）
	② 学校沿革
	③ 目標及び計画（建学の理念、開校の目的、校訓、教育目標、教育方針）
(2) 各コースの教育	① 入学者に関する受入れ方針
	② 各コースの定員及び修業年数
	③ 編入学制度
	④ 学習指導方針（各コース指導方針、目標とする検定）
	⑤ 授業時間数・カリキュラム
	⑥ 就職内定率、卒業後の進路
(3) 教職員	① 教職員数・組織体制
	② 教職員の専門性
	③ 教職員研修の基本方針
	④ 教職員研修・研究の実績
(4) キャリア教育・職業実践教育	① キャリア教育への取組状況
	② 教育課程改善委員会
	③ 実習等への取組状況
	④ 職業実践専門課程の認定
	⑤ 就職支援等への取組状況
(5) 様々な教育活動・教育環境	① 学校行事への取組状況
	② 課外活動（ボランティア活動）
(6) 学生の生活支援	① 学生支援への取組状況（学生支援の組織、学校生活上の諸問題に対する対処・指導状況）
(7) 学生納付金・就学支援	① 学生納付金の取扱い（金額、納入時期等）
	② 活用できる経済的支援措置の内容等（奨学金、授業料減免等の案内等）
(8) 学校の財務	① 収支計算書
	② 貸借対照表
	③ 監査報告書
(9) 学校評価	① 自己評価・学校関係者評価の結果
	② 評価結果を踏まえた改善方策
(10) その他	① 学校運営の状況に関するその他の情報

(1) 学校の概要、目標及び計画

①学校基本情報

学校名	アルスコンピュータ専門学校	創立	昭和 63 年 4 月 1 日
学校所在地	〒360-0046	専修学校	昭和 63 年 3 月 31 日認可
連絡先等	埼玉県熊谷市鎌倉町 1 2 4 TEL : 048-526-0919 FAX : 048-525-8119 URL : http://www.arsnet.ac.jp/school	法人	昭和 63 年 3 月 31 日認可
		設置者名	学校法人 郷学舎
		理事長名	山崎 彰
		校長名	荻野 欣男

②学校沿革

	年 月 日	事 項
沿 革	法人設立	
	昭和 62 年 6 月 8 日	埼玉県私立学校審議会・事業計画承認
	昭和 63 年 3 月 23 日	埼玉県私立学校審議会・許可答申
	昭和 63 年 3 月 31 日	埼玉県知事許可
	昭和 63 年 4 月 1 日	学校法人 郷学舎 設立
	学校設置	
	昭和 62 年 6 月 8 日	埼玉県私立学校審議会・設置計画承認
	昭和 63 年 3 月 23 日	埼玉県私立学校審議会・許可答申
	昭和 63 年 3 月 31 日	埼玉県知事許可
	昭和 63 年 4 月 1 日	アルスコンピュータ専門学校開設（専修学校専門課程） 初代校長 高橋達治就任
	校舎建設	
	昭和 62 年 10 月 14 日	起工式
	昭和 62 年 12 月 29 日	上棟式
	昭和 63 年 3 月 30 日	竣工
	平成 18 年 2 月 22 日	熊谷市鎌倉町 125 番地の校地として取得
	平成 19 年 9 月 4 日	熊谷市鎌倉町 123 番地の土地・建物取得、校舎として検査完了
	平成 22 年 5 月 6 日	熊谷市鎌倉町 125 番地の校地に学生センター建設
	平成 24 年 2 月 28 日	熊谷市本町 1-149-1 の土地・建物（研究室）として取得
	開 校	
	昭和 63 年 4 月 12 日	第 1 回入学式挙行
平成 2 年 3 月 15 日	第 1 回卒業式挙行	
平成元年 4 月 1 日	二代校長 戸川武三就任	
平成 7 年 1 月 23 日	工業専門課程情報システム科（2 年課程）、商業実務課程情報経理課（2 年課程）、0 A ビジネス科（2 年課程）の修了者への専門士称号授与承認	
平成 11 年 4 月 1 日	情報システム科コース改編／情報経理科コース改編	

5. 教育方針

<スペシャリストの養成>

本校は、現代社会の要請、特に地元産業の求める人材を育成する。そのため、実社会で必要とされ、その発展に寄与できる能力・知識・技術・資格を備えた“スペシャリスト”を養成する。

<豊かな人間性の育成>

明るく健康で建設的な意志を持ち、協調性と人間性豊かな良識ある社会人を育成する。

(2) 各コースの教育

①入学者に関する受入れ方針

入学者の選考については、募集要項に基づいて、各学科コースの特色に配慮しつつ、その教育を受けるに足る能力・適性等を判定して選考を行う。

② 各コースの定員及び修業年数

課 程	学 科 名	コ ー ス 名	修業年数	募集定員
工業専門課程	情報システム科	システム開発コース (システムエンジニア・プログラマー・システムアドミニストレータ育成コース)	2年	20名
		ゲームクリエイターコース (ゲーム・サウンド・グラフィッククリエイター育成コース)	2年	20名
		CGデザイナー・CADコース (CGデザイナー・CAD利用技術者育成コース)	2年	20名
商業実務専門課程	情報ビジネス科	情報ビジネスコース (コンピュータ利用技術者育成コース)	2年	20名
		保健・医療ビジネスコース (保健・医療ビジネス事務スタッフ育成コース)	2年	25名
	ビジネス・ベーシック科	ビジネス・ベーシックコース (ビジネススタッフ基礎能力育成コース)	1年	15名
教育・社会福祉専門課程	福祉保育科	幼児保育コース (幼稚園教諭・保育士・社会福祉主事(任用)育成コース)	3年	15名
工業専門課程	IT総合研究科	IT総合研究コース (上級者育成・研究コース)	1年	10名

③編入学制度

大学・短期大学・専門学校を既に卒業されている人または、これから卒業を予定されている人で資格や専門士の称号取得を目指す人を、本校卒業に必要な単位（107時間単位）の1/4分を認定して受け入れる制度です。1年次に編入し2年次前期で卒業に必要な単位を取得でき、実質的な修業年数は1.5年となります。在席は2年間とし、卒業年度は2年次後期終了時となります。この制度の利用者は入学金と授業料の減免が認められます。

*福祉保育科、IT総合研究科に関しては、単位認定はしていません。

<募集学科（コース毎）・定員・修業年数・編入学による入学者数>

課程	学科名	コース名	修業年数	募集定員
工業専門課程	情報システム科	システム開発	1.5年	各5名まで
		ゲームクリエイター		
		CGデザイナー・CAD		
商業実務専門課程	情報ビジネス科	情報ビジネス	3年	
		保健・医療ビジネス		
教育・社会福祉専門課程	福祉保育科	幼児保育	1年	
工業専門課程	IT総合研究科	IT総合研究	1年	

④学習指導方針（各コースの指導方針、目標とする検定）

学科名	コース名	指導方針	目標とする検定
情報システム科	システム開発コース	<ul style="list-style-type: none"> ● 情報処理技術者に必要な知識を習得し基本情報技術者試験を取得する。 ● システム開発における企画立案から設計および実装までの一連の作業工程を、実習を通じて体系的に習得する。 ● 複数のプログラム言語実習や様々な開発形態での実習を通じ、プログラム開発における多様な発想と表現方法や開発技術を習得する。 ● グループ制作を通じ、組織的な開発手法を習得する。 	応用情報技術者試験 基本情報技術者試験 ITパスポート試験 情報処理技術者能力認定試験 情報検定（J検）情報システム試験 CompTIA Strata IT Fundamentals
	ゲームクリエイターコース	<ul style="list-style-type: none"> ● ゲームタイトル制作の企画・設計工程における、手法、手順および各種ドキュメント作成技術を習得する。 ● 各種ゲームアルゴリズム、及びゲームプログラミング技術を習得する。 ● ゲームタイトルを構成する、プログラム、CG、サウンドの各種コンテンツ制作技法を習得する。 ● グループ制作を通じ、組織的な開発手法を習得する。 	情報検定（J検）情報システム試験 基本情報技術者試験 ITパスポート試験 CompTIA Strata IT Fundamentals
	CGデザイン	<ul style="list-style-type: none"> ● IT、マルチメディア全般にわたる総合的な知識 	マルチメディア検定

	ナー・CAD コース	<p>を習得する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● CGデザイナーとして必要な知識を習得する。 ● CADオペレータとして必要な知識を習得する。 ● 機械CADでは、製図から加工に至るまでの一連の知識を習得する。 ● 建築CADでは、BIMの基本操作を習得する。 ● デザインとCADを合わせて活用する技術を習得する。 ● アイディアや発想を表現するために必要なデザイン技術を習得する。 ● 各種グラフィックス作成ソフトウェアを駆使して、提示されたテーマ・素材から、仕様に従ってコンテンツを制作する技術を習得する。 ● DTP、CAD、Webデザイン、ムービー編集のいずれか、または複数分野の企画・設計・デザインおよび、制作技術を習得する。 	<p>CGクリエイター検定 Webデザイナー検定 CAD利用技術者試験 情報検定（J検）情報活用試験</p>
IT総合 研究科	IT総合研 究コース	<ul style="list-style-type: none"> ● 専門士、学士、短期大学士ならびに高資格取得者（基本情報技術者試験、ITパスポート試験など）、経験者（ゲーム開発、デザイン制作など）の為に開設するコース。 ● 他のコースからの教科選択も可能。 <p>（注）1年制のため、専門士の称号は取得できません。</p> <p><システム開発の実践> セキュリティや、IT関連技術に関する技術や知識を習得する。システム開発に従事するシステムエンジニア・プログラマを育成する。</p> <p><3Dゲームタイトル制作> 3Dゲーム制作を通じ、3Dゲームプログラマを育成する。</p> <p><3DCGコンテンツ制作> 3Dグラフィックス作品を制作し、ポートフォリオ制作や各種イベントへの出展を通じて、3DCGデザイナーを育成する。</p>	<p>応用情報技術者試験 ネットワークスペシャリスト試験 データベーススペシャリスト試験</p>
情報ビジ ネス科	情報ビジネ スコース	<ul style="list-style-type: none"> ● 情報機器及びシステムを把握するために、コンピュータシステムやネットワークに関する知識を習得する。 ● 企業活動や関連業務および、問題分析・解決手法に関する知識を習得する。 	<p>ITパスポート試験 情報検定（J検）情報活用試験 ビジネス文書検定 ビジネス能力検定（B検 ジョブパス）</p>

		<ul style="list-style-type: none"> ● 関連法規や情報セキュリティに関する知識を習得する。 ● 企業の情報化推進、導入、運用の知識を習得する。 ● Access を利用した業務アプリケーションの設計および制作技術を習得する。 ● MicrosoftOffice の Word, Excel, PowerPoint, Access の利用技術を習得する。 ● Internet を利用した情報活用技術および、基本的な Web 作成手法を習得する。 ● 社会人に必要な基礎能力および、職業人としての仕事の実践力を習得する。 ● 明るく元気で、就職後も積極的な行動がとれるような、ビジネス知識を習得する。 ● 情報関連企業の他、販売部門で活躍できる知識を習得する。 ● 幅広い職種・業種で活躍できる人材になれるよう、マーケティングに関する知識を習得する。 	<p>サービス接遇検定 秘書検定 簿記検定 Word 文書処理技能認定試験 Excel 表計算処理技能認定試験 Access ビジネスデータベース技能認定試験 販売士検定試験</p>
保健・医療ビジネスコース		<ul style="list-style-type: none"> ● 高度な専門知識を持ち、医療事務部門・看護部門・診療情報管理部門で幅広く活躍できる医療事務スタッフを育成する。 ● 診療報酬請求事務能力、医事コンピュータ操作力、医療関連知識（臨床医学・医療法規等）、患者接遇の技術、医療文書作成技術、病名コーディングを習得する。 ● 患者接遇などの演習を通し、窓口業務の流れ・コミュニケーションの取り方・積極的な患者接遇を学び、患者様の気持ちや状況が理解できる対人能力を習得する。 ● ビジネス知識、PCスキル、プレゼンテーション能力を習得する。 	<p>診療報酬請求事務能力認定試験（医科） 医療事務技能審査試験（メディカルワーク） 医療秘書技能検定 ホスピタルコンシェルジュ検定試験 医事コンピュータ技能検定試験 電子カルテ実技検定試験 ICDコーディング技能検定 医師事務作業補助技能認定試験（ドクターズ・ワーク） 診療情報管理技能認定試験（メディカルレコード・コーディネーター） ビジネス文書 秘書検定 調剤事務管理士技能認定試験 Excel 表計算処理技能認定試験 Word 文書処理技能認定検定</p>
ビジネス・ベーシック科	ビジネス・ベーシックコース	<ul style="list-style-type: none"> ● 社会に出るための基本的に必要な基礎学力や専門能力・技術・ビジネスマナー・コミュニケーション能力・職業人意識など幅広く習得する。 (注) 1年制のため、専門士の称号は取得できません。 	<p>情報検定（J検）情報活用試験 ビジネス文書検定 ビジネス能力検定（B検定 ジョブパス）</p>

			簿記検定 Word 文書処理技能認定検定技能認定試験 Excel 表計算処理技能認定試験
福祉保育科	幼児保育コース	<ul style="list-style-type: none"> ● 幼稚園教諭二種免許状、保育士資格、社会福祉主事（任用）資格の取得を目指し、近畿大学九州短期大学通信教育部保育科との併修により、短期大学士（短大）の資格を同時取得する。 ● プロの幼児教育者を目指し、実技・実習を通して幼児教育者としての専門知識・技術を身に付けること、さらにIT知識・技術を備えた幼児教育者を育成する。 	Word 文書処理技能認定試験 Excel 表計算処理技能認定試験 情報検定（J検）情報活用試験 ヤマハ音楽能力検定（ヤマハグレード） リトミック初級および中級指導者資格 幼児体育指導者検定

④ 授業時間数・カリキュラム

平成 25 年度コース別授業時間数

課 程	学科 コース	学年	学則上の年間授 業時間 (単位時間)	1 日の平均授業時間 数 (週の総授業時間 数/週の授業日数)	授業実施日数 (日)
工業専門 課程	情報システム科 システム開発コース	1 年	1,336	6.9	194
		2 年	1,036	5.6	184
	情報システム科 ゲームクリエイターコース	1 年	1,368	7.4	185
		2 年	1,168	6.2	188
	情報システム科 CG デザイナー・CAD コース	1 年	1,232	6.8	180
		2 年	1,188	6.6	180
	IT 総合研究科 IT 総合研究コース	1 年	1,180	6.6	178
商業実務 専門課程	情報ビジネス科 情報ビジネスコース	1 年	1,576	8.1	195
		2 年	1,412	7.7	184
	情報ビジネス科 保健・医療ビジネスコース	1 年	1,356	7.2	189
		2 年	1,260	6.8	185
	ビジネスベーシック科 ビジネス・ベーシックコース	1 年	1,076	5.0	215
教育・社会 福祉 専門課程	福祉保育科 幼児保育コース	1 年	1,272	6.7	190
		2 年	1,164	6.4	182
		3 年	1,104	6.3	175

コース名	コースの特色・カリキュラム等
システム開発コース	http://www.arsnet.ac.jp/school/course-system.html
ゲームクリエイターコース	http://www.arsnet.ac.jp/school/course-game.html
CG デザイナー・CAD コース	http://www.arsnet.ac.jp/school/course-cg_cad.html
IT 総合研究コース	http://www.arsnet.ac.jp/school/course-it.html
情報ビジネスコース	http://www.arsnet.ac.jp/school/course-business.html
保健・医療ビジネスコース	http://www.arsnet.ac.jp/school/course-medical_biz.html
ビジネス・ベーシックコース	http://www.arsnet.ac.jp/school/course-biz_basic.html
幼児保育コース	http://www.arsnet.ac.jp/school/course-children.html

⑥就職内定率、卒業後の進路

就職内定率（平成 25 年度）	就職内定率（平成 24 年度）	就職内定率（平成 23 年度）	就職内定率（平成 22 年度）
99.1%	98.9%	98.1%	97.6%
<p><主な就職先>（平成 25 年度）</p> <p>JR システム・エンジニアリング、エヌシステム、日本NCRサービス、日栄電機、埼玉県魚市場、森乳業、ノグチコンピュータサービス、エクセルコンピュータサービス、ガンバレ、ローヤルエンジニアリング、PFU 東日本、ヨドバシカメラ、吉貞、新陽建設、東京ラインプリンタ印刷、モザイク、太田物産、ミトヨ、シコク景材関東、サン電子、郡慶、武州養蜂園、シーガルリゾートイノベーション、藤井光学、東洋ワーク、アートコーポレーション、行田総合病院、上尾中央総合病院、埼玉医科大学病院、関越病院、鈴木外科病院、このす共生病院、太田整形外科クリニック、児玉清水クリニック、柳田医院、徳岡整形外科・内科、中央薬局グループ、グランドール、アサヒ調剤薬局、社会福祉法人育慈会、さかえ幼稚園、WITH、梨花の里、 他</p> <p><主な就職先>（平成 24 年度）</p> <p>富士通アプリケーションズ、JR システム・エンジニアリング、エヌシステム、NTT-ME、スバルシステムサービス、パシフィックシステムズ自フジミック埼玉、森乳業、ソルトライブ、埼玉県魚市場、関東ソフトウェア、カナオカ、第一倉庫冷蔵、行田総合病院、埼玉慈恵病院、上尾中央総合病院、埼玉県央病院、慶友整形外科病院、北深谷病院、東鷲宮病院、若葉病院、鈴木外科病院、藤間病院、埼玉医科大学総合医療センター、おおしまクリニック、くぼじまクリニック、さめじまボンディングクリニック、山田ハートクリニック、日本保育サービス、さくら保育園、愛弘会、 他</p> <p><主な就職先>（平成 21～23 年度）</p> <p>エヌ・ティ・ティ・エムイー、アドバンテストメディアサービス、埼玉富士、富士エンジニアリング、富士通アプリケーションズ、スバルシステムサービス、リンテック、長島エンジニアリング、グローバル、アイ・ティー・ワン、関東ソフトウェア、小泉北関東、日本NCRサービス、日本郵政グループ、ヤマトシステム開発、T&D情報システム、Minorisソリューションズ、テクノパワー、NTCテクノロジー、カナオカ、コスモシステム、ユー・コーポレーション、埼玉ひびきの農業協同組合、ジェイアールシステム・エンジニアリング、森乳業、武蔵嵐山病院、関東脳神経外科病院、蓮田病院、藤間病院、騎西クリニック、熊谷外科病院、国保町立小鹿野中央病院、埼玉医科大学病院、埼玉県厚生農業共同組合、埼玉慈恵病院、埼玉脳神経外科病院、行田総合病院、戸田中央医科グループ、本庄福島病院、明海大学病院、ヘリオス会病院、埼玉県央病院、さめじまボンディングクリニック、慶友整形外科病院、口腔研クリニック、中央薬局グループ、どんぐりこども診療所、こばやし小児科、鴻巣外科胃腸科、深谷耳鼻咽喉科クリニック、毛呂病院、よしおか内科こどもクリニック、グランドール、クリーン薬局、大慶堂、タジマ薬局、トミオカ薬局、アイ薬局、ユニコ調剤薬局、荒川幼稚園、摩耶幼稚園、県北若竹学園、大芦保育園、日本保育サービス、第二のぞみ保育園キッズガーデン、梨花の里、グローバルキッズ、どろんこ会、ぽけっとランド、嵐山郷、白鳥園、介護老人福祉施設ぬくもり、ルミエール、 他</p>			

(3) 教職員

①教職員数・組織体制

区 分	実 員		
	専 任	専任以外	合 計
校 長	1		1
教 頭 職	1		1
教 員	13		13
講 師		37	37
助 手	1		1
事 務 長	1		1
事 務 職 員	7		7
その他職員		7	7
合 計	24	44	68

*組織図（図1参照）

②教職員の専門性

専門科目	
情報系	情報処理、ゲームプログラミング、CG、CAD、マルチメディア 等
ビジネス系	IT、ビジネス、販売士、医療事務、医療秘書、診療情報管理 等
保育系	保育分野科目、ピアノレッスン、声学レッスン、総合英語、情報処理、等
その他	就職指導、キャリアサポート、進路指導、広報、総務、等

③教職員研修の基本方針

本校では以下の通り教職員研修・研究に関する要綱を定め実施している。

<教員研修・研究に関する要綱より一部抜粋>

基本方針

質の高い授業、実績の向上、円滑なクラス運営を行う教育力の向上、また、企業等との連携を通じた実践的な職業教育を実施する上で、学校や各団体などが開催する研修会などに参加し、外部の情報を得ると同時に教育関係者との関係を築き、啓発を図ることが重要である。

そこで、本校の教育体制を強化する事を目的とし、教育基本法に定められている養成と研修の充実を組織的に実施するため、下記のとおり規定する。なおこの教育方針の目的を達成するため、年度ごとに研修・研究計画を策定し研修を実施する。

④教職員研修・研究の実績（平成25年5月～平成26年3月まで）

研修期間	研修会・研究会名称	主催	概要	対象学科、出席者	企業等との連携内容
5月22日 (水)	第1回診療情報管理に関連する講演会	熊谷市・アルスコンピュータ専門学校	医療機関における診療情報管理等についての研修。	【実務】 医療系教員	講師 社会福祉法人埼玉慈恵会 埼玉慈恵病院 事務副部長 建川勝彦 様
6月26日 (水)	第2回診療情報管理に関連する講演会	熊谷市・アルスコンピュータ専門学校	DPCの概要および、DPCの実際等についての研修。	【実務】 医療系教員	講師 社会福祉法人埼玉慈恵会 埼玉慈恵病院 事務副部長 建川勝彦 様
7月24日 (水)	第3回診療情報管理に関連する講演会	熊谷市・アルスコンピュータ専門学校	DPCについての研修。	【実務】 医療系教員	講師 社会福祉法人埼玉慈恵会 埼玉慈恵病院 事務副部長 建川勝彦 様
5月10日 (金)	IT業界の現状と新入社員研修及び、就職対策に関する講演会	株式会社クエスト	IT業界における近年の動向、および企業における新入社員教育の内容、学生に求められるスキル等についての研修。	【実務】 システム開発、ゲーム、ビジネス系教員	株式会社クエスト 様
7月30日 (火)	ビジネス能力検定ジョブパスセミナー	一般財団法人職業教育・キャリア教育財団	企業における採用と若年層スキルアップについての取り組みの事例紹介および試験制度改定と出題意図を題材とした指導ポイントに関する研修。	【実務】 大沢真智子	講師 株式会社日立ソリューションズ 公共営業部 酒匂 正昭 様
6月29日 (土)、7月13日 (土)、27日 (土)	専修学校教員研修会	社団法人 埼玉県専修学校各種学校教育振興会	専修学校教員として、学生・教員のための実践心理、カウンセリング理論、授業実践方法論などについての研修。	【指導力】 佐藤雅幸、谷矢晃一、渡邊美華	講師 大学教授など
8月5日 (月)～6日 (火)	学級経営と個別カウンセリングのスキルアップ研修	一般社団法人全国専門学校経営研究会	教員の指導力向上と学科運営ノウハウを高めることを目的とした研修。	【指導力】 佐藤雅幸	講師 株式会社図書文化社

8月5日 (月)~6 日(火)	情報処理技術 者試験対策教 員研修会	一般社団法人 全国専門学校 経営研究会	情報処理技術者試験を指 導する教員の事例発表を 交えた研修。	【実務】 佐藤雅幸	株式会社ウイネットとの共同 開催
8月6日 (火)	次世代メディア 研究会	一般社団法人 全国専門学校 経営研究会	日本マイクロソフト株式会 社によるICTの活用に関す る事例紹介などを交えた研 修。	【実務】 佐藤雅幸	日本マイクロソフト株式会 社による事例発表
8月5日 (月) ~7日 (水)	管理職マネジメ ント研修	一般社団法人 全国専門学校 経営研究会	全国専門学校経営研究会 が主催し、群馬県前橋市の (株)CRI 中央総研で実施され た、専門学校の運営と発展 を担う管理職として必要な マネジメントスキルを養成 し、職場のリーダーとして活 躍できるようにする研修。	【指導力】 戸川千詠子	株式会社 CRI 総研 講師
8月23日 (金) 9月27日 (金)	ビジネスプラン 作成講座	熊谷市・アルス コンピュータ専 門学校	気候、自然、文化、産業な どの様々な”種”からビジネ スのアイデアを生み出すた めの、発想力を育成する事 を目的とした研修。	【実務】 全学科教員対 象	講師 渡辺経営コンサルティング 代表 渡辺政之 様
10月10 日(木)	手話特別講演 会	熊谷市・アルス コンピュータ専 門学校	「ろう者の生活とろう文化」 をテーマにろう者を理解す るための研修。	【実務】 医療系教員	講師 熊谷市ろう者協会 会長 岩田恵子 様
10月25 日(金)	IT 業界の動向 と資格の強み についての講 演会	CompTIA 日本 支局	IT 業界における近年の動 向、および認定試験の必要 性や企業内での活用事例 を学生に伝え、業界知識の 向上と、スキルアップの動 機づけ指導を行う研修。	【実務】 システム開発、 ゲーム学生 正田淳一	講師 CompTIA 日本支局 板見谷 剛史 様
1月15日 (水)	医療機関実務 担当者による 特別講演	熊谷市・アルス コンピュータ専 門学校	医療人としての心構え等 についての研修。	【実務】 医療系教員	講師 社会福祉法人埼玉慈恵会 埼玉慈恵病院 事務副部長 建川勝彦 様

2月16日 (日)	ビジネスコンテ スト大会特別 講演	熊谷市・アルス コンピュータ専 門学校	気候、自然、文化、産業な どの様々な”種”からビジネ スのアイデアを生み出すた めの、発想力を育成する事 を目的とした研修。	【実務】 全学科教員対 象	講師 株式会社キャラウイット 上岡実弥子 様
10月31 日(木)	大学・高校実 践ソリューション セミナー2013	株式会社内田 洋行	グローバル人材育成、キャ リア・就職支援、最新技術、 タブレット活用、アクティブ・ ラーニング等への対応を図 る、ICTソリューションにつ いての研修。	【実務】 佐藤雅幸	株式会社内田洋行
11月21 日(木)	マイクロソフト カンファレンス 2013	日本マイクロ ソフト株式会社	マイクロソフトの最新のテク ノロジーや製品、サービス、 最新のデバイス等、マイク ロソフトが提供するこれか らの革新的で柔軟なワーク スタイルについての研修。	【実務】 正田淳一	日本マイクロソフト株式会社
2月24日 (月)～2 月25日 (火)	特別支援教育 と学級経営	一般社団法人 全国専門学校 経営研究会	軽度発達障害【軽度発達障 害(LD)注意欠陥多動性障 害(ADHD)、広汎性発達障 害(高機能自閉症、アスペ ルガー症候群)]や精神障 害の学生・保護者の支援・ 対応方法を学ぶ	【指導力】 長瀬あゆみ	講師 早稲田大学 教授 博士(心 理学)河村茂雄 先生 東京成徳大学・大学院 田村 節子 先生 など
2月26日 (水)～2 月27日 (木)	今注目の授業 スタイル アク ティブラーニン グによる授業 改善	一般社団法人 全国専門学校 経営研究会	学生のグループ討議に主と する能動的授業法、「アク ティブラーニング」の進め 方、教師の役割、介入のス キルなどについて学ぶ	【指導力】 金井貴史	講師 日本アクションラーニング協 会認定 AL シニアコーチ 小林 昭文 様
3月14日 (金)	医療業界セミ ナー	アルスコンピ ュータ専門学校	医療機関で求められる人 材とは、病院実習への準 備・取り組み方、病院実習 を就職につなげるポイント 等についての研修。	【実務】 医療系教員	講師 本庄総合病院 医事課 主任 加藤 誠 様
3月14日 (金)	保育業界セミ ナー	アルスコンピ ュータ専門学校	保育士として求められる人 材(能力、資質等)とは保育 実習の心構え、身だしなみ やマナー、採用側からの採	【実務】 福祉保育科教 員	講師 社会福祉法人 清風 会 福祉医療センター 太陽 の園 療護課 主任 榎本 麻衣

			用基準や内定ポイントなどに関する研修。		様
3月24日 (月)	診療報酬改定 緊急セミナー	財団法人 日本 医療教育財団	平成26年度の診療報酬 (医科)改定にともなう、点 数改定内容の徹底解説と 教育現場の対応について の研修。	【実務】 医療系教員	財団法人 日本医療教育財 団

【実務】専攻分野における実務に関する知識、技術、技能を習得・向上する事を目的とした研修

【指導力】授業及び学生に対する指導力を習得・向上する事を目的とした研修

(4) キャリア教育・職業実践教育

①キャリア教育への取組状況

専門学校は職業に関連する専門的な教育を行うと同時に、学生一人ひとりが自立した社会人・職業人となるための教育を行うことも重要である。本校では1年次より教育課程にキャリア教育・職業教育を教科として位置づけ取り組んでいる。さらに、就職強化週間（11月、3月）での集中指導、OB・OG対談、専任の就職指導教員による個別面談等、様々な方法で学生の意識を向上させる取組みを行っている。多様化する学生や社会に対応する為には、教員のきめ細かい指導が必要であり、本校の特徴の一つである少人数制・担任制での教育が効果をあげるものと確信している。

②教育課程改善委員会

本校では企業や実社会が求める人材育成を行う為に、教育課程改善委員会を開催し教育課程の改善を図っている。教育課程改善委員会は外部委員（有識者および実務者）と内部委員（本校教員）で構成され、各分野の最新の情報や必要とされる人材像について情報交換される。ここでの情報はカリキュラム編成委員会に伝えられ、本校の教育方針等と照らし合わせ、教育課程やシラバスへの具体的な改善へ繋がっていく。

③実習等への取組状況

取り組み	目的および概要
卒業研究	各学科コースで蓄えてきた知識・技能を生かし、グループ研究にて、実社会でいち早く戦力となるための実践力を養成する。
企業実習Ⅰ 企業実習Ⅱ	企業などでの業務を通じ、コンピュータを用いた事務作業や、適切な報告・連絡・相談の方法また、レポートの作成方法など、コンピュータの活用技術や社会人として必要な基本的な行動を習得することを目的とし、製造業、サービス業、ソフトウェア開発業などの企業において、実習担当者の指導のもと実習を行う。
特別講義Ⅰ	現在及び将来のシステム開発者に必要とされるコンピュータ関連知識の理解度向上を図るため、企業・業界団体の指導、サポートの下、問題演習やテキストを使用した講義等で学習を行う。また、習熟度の客観的な評価を目的として、各種情報技術に関する認定資格の受験及びその対策を行う。

ゲームプログラミング I	<p>現役でゲームプログラミングを制作している講師からの指導により、C#言語（XNA 環境）を用いて、実際のプログラミング制作の一連の流れを、講義と実習を通して経験することが目的である。</p> <p>具体的には担当講師の指導の下、C#言語仕様の基本を学び、与えられた課題プログラムの作成を経て、最終的には課題プログラムを独自のアイデアで改良できる段階に到達するのが目標である。</p>
ゲームサウンド I	<p>現役でゲームサウンドを制作している講師からの指導により、実際のサウンド制作の一連の流れを、講義と実習を通して経験することが目的である。</p> <p>具体的には担当講師の指導の下、楽曲を作成できるまでのサウンド制作者としての基礎知識を身につけた後、架空の制作プロジェクトを想定して、学生自らが仕様書を作成し、サウンド発注ができるようになるための知識を身につけるのが目標である。</p>
ゲーム企画	<p>現役でゲームプランニングを制作している講師からの指導により、実際のゲーム企画書作成までの一連の流れを、講義と実習を通して経験することが目的である。</p> <p>具体的には担当講師の指導の下、立案から原案書の作成を行い、クラスでの原案の相互評価を経て、最終的には自らの原案を企画書として完成させる段階に到達するのが目標である。</p>
ゲームプログラミング II	<p>現役でゲームプログラミングを制作している講師からの指導により、Java 言語（Eclipse 環境）を用いて、実際のプログラミング制作の一連の流れを、講義と実習を通して経験することが目的である。</p> <p>具体的には担当講師の指導の下、Java 言語仕様の基本から、与えられた課題プログラムの作成を経て、最終的には自由制作課題を作成できる段階に到達するのが目標である。</p>
ゲームサウンド II	<p>現役でゲームサウンドを制作している講師からの指導により、実際のサウンド制作の一連の流れを、実習を中心に経験することが目的である。</p> <p>具体的には担当講師の指導の下、効果音作成の基礎知識を身につけた後、学生自らが作成した仕様書を元に、映像に対して効果音を組み込むまでの一連の流れに必要な知識を身につけるのが目標である。</p>
CAD 実習 （建築・電気上級 I）	<p>建築における電気設備についての理解を深め、各室の用途に応じた電気設備を検討し、CADにより電気図面を作成する。選択者は二年次の「CAD実習上級（建築・電気上級 II）」を選択することができ、より実践的なCADによる設計を学ぶことが出来る。</p>
CAD実習 （建築・電気上級 II）	<p>建築意匠図を作成するための基本ルールの習得とその応用を学び、実際の業務で活用するトレース作業をより実践的に行う。また、即戦力として実務CAD操作にフレキシブルな対応ができる応用力を養う。</p>
病院実習 I	<p>病院の業務を直接体験することによって、自己を正しく認識し、仕事に取り組む態度を磨き、学習していることが、病院では実際にどのように生かされているかを認識することを目的として、近隣の医療機関において、実習担当者の指導の下、実習を行う。</p>
病院実習 II	<p>病院の業務を直接体験することによって、自己を正しく認識し、仕事に取り組む態度を磨き、学習していることが、病院では実際にどのように生かされているかを認識することを目的として、近隣の医療機関において、実習担当者の指導の下、実習を行う。</p>
診療情報管理理論	<p>医療機関における診療情報管理、DPCの概要、DPCの実際、ICDコーディングの実際などについて理解することを目的として、医療機関の実務担当者による講演会を行う。</p>

<p>保育実習Ⅰ (保育)</p>	<p>保育実習Ⅰは、日々の学習を通じて得た知識、技能、心構えを実際の保育現場で、乳幼児教育及び生活指導の学習を体験しようとする。保育実習は乳幼児の生活指導を中心に、こどもの発達助成を目指す。各保育所での保育は家庭的色彩が濃厚であるため、各保育所の特殊事情に即応できる能力を実践の場を通じて学び、保育者としての精神の向上と資質を高めることを目標としている。</p> <p>①保育所の内容、機能などを実地の体験を通して理解する。</p> <p>②保育所の集団としての児童および個人としての児童について理解する。</p> <p>③保育所における保育者の職務内容、役割、チーム・ワークなどを体験的に学ぶ。</p> <p>④実習生自身が自らの保育感、現代の家庭や社会についての考え方を深め、将来の保育者としての自覚を持つ。</p> <p>⑤学んだ理論が、実践の場でいかに具体化され、総合されるかを知り、さらに新しい学習目標を見いだす契機とする。</p>
<p>保育実習Ⅰ (施設)</p>	<p>保育実習Ⅰ(施設)は、その習得した教科全体の知識・技能を基礎とし、これらを総合的に実践する応用能力を養うため、児童に対する直接的な働きかけを通じて、保育の理論と実践の関係について習熟することを目的としている。</p> <p>①児童福祉施設の内容、機能などを実地の体験を通して理解する。</p> <p>②児童福祉施設における集団としての児童および個人としての児童について、実践的な接触を通して理解する。</p> <p>③保育士の職務内容及び役割、また他の職員とのチーム・ワークなどを、実習者自身が補助的な立場に立つことにより、体験的に把握する。</p> <p>④他の保育士および児童と生活をともにし、実習生自身がさまざまな働きかけを行うことにより、自らの児童観・保育観、あるいはそれをとりまく現代の家庭や社会についての考え方を深め、将来の保育士としての自覚を得させる。</p> <p>⑤学んだ理論が、実践の場でいかに具体化され、総合されるかを知り、さらに新しい学習目標を見いだす契機とする。</p>
<p>保育実習Ⅱ</p>	<p>保育実習Ⅱは、日々の学習を通じて得た知識、技能、心構えを実際の児童福祉施設の現場で、乳幼児教育及び生活指導の学習を体験しようとする。保育実習Ⅱは乳幼児の生活指導を中心に、こどもの発達助成を目指す。各児童福祉施設での保育は家庭的色彩が濃厚であるため、各児童福祉施設の特殊事情に即応できる能力を実践の場を通じて学び、保育者としての精神の向上と資質を高めることを目標としている。</p> <p>①児童福祉施設の内容、機能などを実地の体験を通して理解する。</p> <p>②児童福祉施設の集団としての児童および個人としての児童について理解する。</p> <p>③児童福祉施設における保育者の職務内容、役割、チーム・ワークなどを体験的に学ぶ。</p> <p>④実習生自身が自らの児童感、保育感、現代の家庭や社会についての考え方を深め、将来の保育者としての自覚を持つ。</p> <p>⑤学んだ理論が、実践の場でいかに具体化され、総合されるかを知り、さらに新しい学習目標を見いだす契機とする。</p>

教育実習②	<p>教育実習は、日々の学習で修得した知識や技能を、体験を通して実際の教育現場で実践することにより、幼児教育に対する理解を深めるとともに、現場における指導技術や実践活動を通して学び、教育者としての精神の向上と、資質を高めることを目標とする。</p> <p>実習事前指導：実習生として実際の教育現場につく前に、教育者としての知識、心構えを学習する。</p> <p>教育実習：これまでに学習してきた知識や理論などを子どもとの生活を通して、教育現場で実践する。</p> <p>実習事後指導：幼稚園において実習を終了した学生は、実習日誌を提出し、指導教員が評価を行う。また、反省・感想文（レポート）を提出する。</p>
教育実習③	<p>教育実習は、日々の学習で修得した知識や技能を、体験を通して実際の教育現場で実践することにより、幼児教育に対する理解を深めるとともに、現場における指導技術や実践活動を通して学び、教育者としての精神の向上と、資質を高めることを目標とする。</p> <p>実習事前指導：実習生として実際の教育現場につく前に、教育者としての知識、心構えを学習する。</p> <p>教育実習：これまでに学習してきた知識や理論などを子どもとの生活を通して、教育現場で実践する。</p> <p>実習事後指導：幼稚園において実習を終了した学生は、実習日誌を提出し、指導教員が評価を行う。また、反省・感想文（レポート）を提出する。</p>

④職業実践専門課程の認定 (<http://www.arsnet.ac.jp/school/about.html>)

本校では2年制以上の学科・コース全てが職業実践専門課程の認定を受けている。専門学校の中でも専攻分野の実務に関する知識や技術、技能について、企業や業界と連携し組織的な教育を行っている学校のみが認められる「職業実践専門課程」は、文部科学大臣が専門学校の教育の質を評価・認定し、職業教育の水準の維持向上を図ることを目的に、平成26年4月より開設された制度である。本校では以前より業界関係者や企業からの意見を取り入れながらカリキュラムの作成等を行っていたこともあり認定を得ることが出来た。今後もより社会で求められる実践的で専門性の高い人材育成を行うために、教育内容の充実と発展を目指していく。

⑤就職支援等への取組状況

本校では教務部（担任）、就職部、適職開発室の3部門によるきめ細かい就職指導が行われている。就職実務といった通常授業の他、就職強化週間、OB・OG対談、企業セミナー、など就職関連の行事や取組みも組み合わせることによって、学生の就職への意識付けや面接技術などを効果的に向上させるよう心がけている。毎週月曜日には就職会議が実施され学生の活動状況は常に情報交換されている。

(5) 様々な教育活動

①学校行事への取組状況

本校の学校行事はそれぞれに教育的な効果を期待して実施されている。

行事	時期	目的・内容等	
入学式	4月		
1日研修旅行Ⅰ	5月	東京ディズニーリゾート	校内の親睦をはかることを目的とした研修旅行
1日研修旅行Ⅱ	10月	CEATEC JAPAN	各分野の展示会などを見学し最新の動向を学習する。
	9月	東京ゲームショウ	
	10月	DIGITAL CONTENT EXPO	
	2月	文化庁メディア芸術祭	
	10月	ホスペック ジャパン	
	7月	モダンホスピタルショウ	
	10月	東京おもちゃ美術館	
楠際（文化祭）	7月	学習成果の発表	
合宿研修	8月	グループディスカッション、他者との共同作業	
スポーツ大会	10月	スポーツを通じて校内の親睦をはかる。体力および気力づくり。	
海外研修旅行	11月	米国（ラスベガス）、世界遺産の見学、専門学校視察など	
就職強化週間（秋期）	11月	集中的就職指導	
アワードバンケット	12月	高資格取得者の表彰	
OB・OG対談	1月	就職活動に向けての情報交換、意識づくり	
卒業研究発表会	1月	学習成果の集大成を発表	
スキー研修旅行	2月	スキーの基礎	
保護者対象就職説明会	2月	就職環境や就職指導、家庭での指導など説明	
就職強化週間（春期）	3月	集中的就職指導	
企業セミナー	3月	本校主催の合同会社説明会	
卒業式	3月		

②課外活動（ボランティア活動等）

主なボランティア実績

ボランティア先、主催	所在地	実施時期
さんあい創立記念祭のボランティア（※毎年参加） （社会福祉法人三愛学園さんあい）	社会福祉法人さんあい（深谷市）	平成25年5月26日
第8回親子ふれあいプール祭り （NPO法人子育てネットくまがや）	江南総合公園（熊谷市）	平成25年8月2日

第8回親子ふれあいプール祭り (NPO 法人子育てネットくまがや)	江南総合公園(熊谷市)	平成 25 年 8 月 3 日
子育て広場ボランティア (※毎年参加)	箕田公民館(鴻巣市)	平成 25 年 8 月 23 日
記念祭ボランティア (熊谷市社会福祉協議会)	特別養護老人ホーム ルーエ(熊谷市)	平成 25 年 9 月 15 日
食育セミナー託児ボランティア (NPO 法人子育てネットくまがや)	東京ガス熊谷支店(熊谷市)	平成 25 年 9 月 26 日
まむろ幼稚園運動会ボランティア	まむろ幼稚園(鴻巣市)	平成 25 年 10 月 5 日
食育セミナー託児ボランティア (NPO 法人子育てネットくまがや)	東京ガス熊谷支店(熊谷市)	平成 25 年 10 月 10 日
愛泉乳児園運動会ボランティア (社会福祉法人愛の泉)	愛泉乳児園(加須市)	平成 25 年 10 月 14 日
生協病院祭り (協賛：NPO 法人子育てネットくまがや)	熊谷生協病院駐車場(熊谷市)	平成 25 年 10 月 27 日
くま SUN フェスタ(熊谷市こども課・くまっしえ)	熊谷ドーム(熊谷市)	平成 25 年 11 月 5 日
愛の泉大バザーボランティア (社会福祉法人愛の泉) (※毎年参加)	愛泉乳児園(加須市)	平成 25 年 11 月 23 日
ママの為のボランティア託児ボランティア (NPO 法人子育てネットくまがや)	熊谷市立公民館(熊谷市)	平成 25 年 11 月 26 日
東京ガス料理教室託児ボランティア (東京ガス・NPO 法人子育てネットくまがや)	東京ガス熊谷支店(熊谷市)	平成 26 年 1 月 30 日
食育セミナー託児ボランティア (NPO 法人子育てネットくまがや)	東京ガス熊谷支店(熊谷市)	平成 26 年 2 月 6 日

(6) 学生の生活支援

①学生支援への取組状況(学生支援の組織、学校生活上の諸問題に対する対処・指導状況)

退学防止会議	毎週水曜日実施。全教職員参加。休みがちな学生などの状況と対応策を検討。
教務部会議	クラス運営状況、方策などより具体的な内容について意見交換。
学生相談室	担任に相談しにくい内容については担当職員が窓口になって相談を受ける。
二者面談・三者面談	5月中旬より個人(二者)面談週間。それに限らず必要に応じて面談を実施している。
学生指導措置委員会	本校の問題行動学生の指導措置を規定に則り検討する為の委員会。
学校保健安全委員会	学生の健康、安全に関する支援。

(7) 学生納付金・就学支援

①学生納付金の取扱い(金額、納入時期等)

学科名	コース名	入学金	授業料 (前期・後期)	施設 設備費	維持費 (前期・後期)	1年次 合計	2年次 合計	3年次 合計
情報システム科	システム開発コース	150,000	400,000	245,600	139,600	935,200	785,200	—
	ゲームクリエイターコース	150,000	400,000	279,200	139,600	968,800	818,800	—
	CGデザイナー・CADコース	150,000						
情報ビジネス科	情報ビジネスコース	150,000	400,000	245,600	139,600	935,200	785,200	—
	保健・医療ビジネスコース	150,000						
ビジネス・ベーシック科	ビジネス・ベーシックコース	150,000	280,000	174,000	103,000	607,000	—	—
福祉保育科	幼児保育コース	150,000	400,000	150,000	60,000	760,000	610,000	610,000
						近畿大学九州短期大学学費が加算		
IT総合研究科	IT総合研究コース	150,000	400,000	245,600	139,600	935,200		—

■ 2・3年次合計学費は、1年次合計金額から入学金を除いた額となります。

◎特別講座など卒業に必要な単位(107単位)を超える選択授業を希望する方のみ、一単位当たり8,000円徴収する場合があります。

※入学時に校友会費として10,000円を納入していただきます。

※教科書・行事費等は実費負担となります。学科によって異なりますが、年間11万円程度です。(ビジネス・ベーシック科は年間9万円程度)

②活用できる経済的支援措置の内容等（奨学金、授業料減免の案内等）

《本校独自の奨学生・特待生制度》

奨学生制度

人物、学力ともに優れ、学内において模範生となるにふさわしいと認められる学生に対して、月額 20,000 円程度の奨学金(返還義務なし)を給付し、就学をすすめるものです。

●出願資格

本校への入学資格を有し、奨学生としてふさわしい人格を持ち、態度・行動において将来良識ある社会人として活躍する見込みを有する者。

※なお、ビジネス・ベーシック科入学希望者及び編入学希望者は対象となりませんので、予めご了承ください。

特待生制度

人物、学力ともに特に優れている者で、本校への入学がふさわしいと認められた者に対して、入学金を免除し、就学をすすめるものです。

●出願資格

本校への入学資格を有し、特待生としてふさわしい人格を持ち、態度・行動において将来良識ある社会人として活躍する見込みを有する者。

※なお、ビジネス・ベーシック科入学希望者及び編入学希望者は対象となりませんので、予め、ご了承ください。

●受付期間

【第1次募集】

平成 26 年 10 月 1 日～平成 26 年 11 月 29 日

【第2次募集】

平成 27 年 1 月 7 日～平成 27 年 2 月 28 日

※既に高等学校を卒業されている方は平成 26 年 9 月 1 日より受付いたします。

●出願期間

奨学生・特待生申込書を入学願書と同時に提出。入学願書の受験票もご記入ください。

入試連絡書封筒と 82 円切手が必要となります。

※郵送出願の場合は 82 円切手の提出が合計 2 枚必要となります。

●選考方法・試験日

- ①書類審査
- ②面接、作文、筆記試験（日時、場所は本校より指定します。）
- ③試験日は、後日、本校より通知します。

※他の減免制度と、奨学生・特待生制度は重複して利用することはできません。

《国の教育ローン（日本政策金融公庫）》

本校の入学者や在学者は、「国の教育ローン（公的な制度）」をご利用いただけます。

融 資 の 対 象 者	入学または在学されている方の保護者
融 資 額	学生一人につき 300 万円以内
返 済 期 間	15 年以内（交通遺児家庭または母子家庭の方は、18 年までの延長が可能です）
元 金 措 置 期 間	在学期間以内
お 使 い み ち	1. 入学時に必要な資金（入学時納付金・受験時の諸費用・下宿費用、等） 2. 在学中に必要な資金（授業料等学校納付金・交通費・下宿費用、等）
利 率	年 2.35%（平成 26 年 2 月 13 日現在）
返 済 方 法	毎月元利均等返済（ボーナス月増額返済も可能）
保 証	（財）教育資金融資保証基金または連帯保証人（1 名以上）
お問い合わせ先	日本政策金融公庫 熊谷支店 熊谷市宮町 2 丁目 45 番地 電 話 048-521-2731

（8）学校の財務

① 収支計算書

別紙参照

② 貸借対照表

別紙参照

③ 監査報告書

別紙参照

(9) 学校評価

①自己評価・学校関係者評価の結果

平成 25 年度自己点検・評価報告書は本校のホームページで公開。同年の学校関係者評価は平成 26 年 9 月 3 日実施。結果内容については学校ホームページ参照。

②評価結果を踏まえた改善方策

本校ホームページを参照してください。

(10) その他

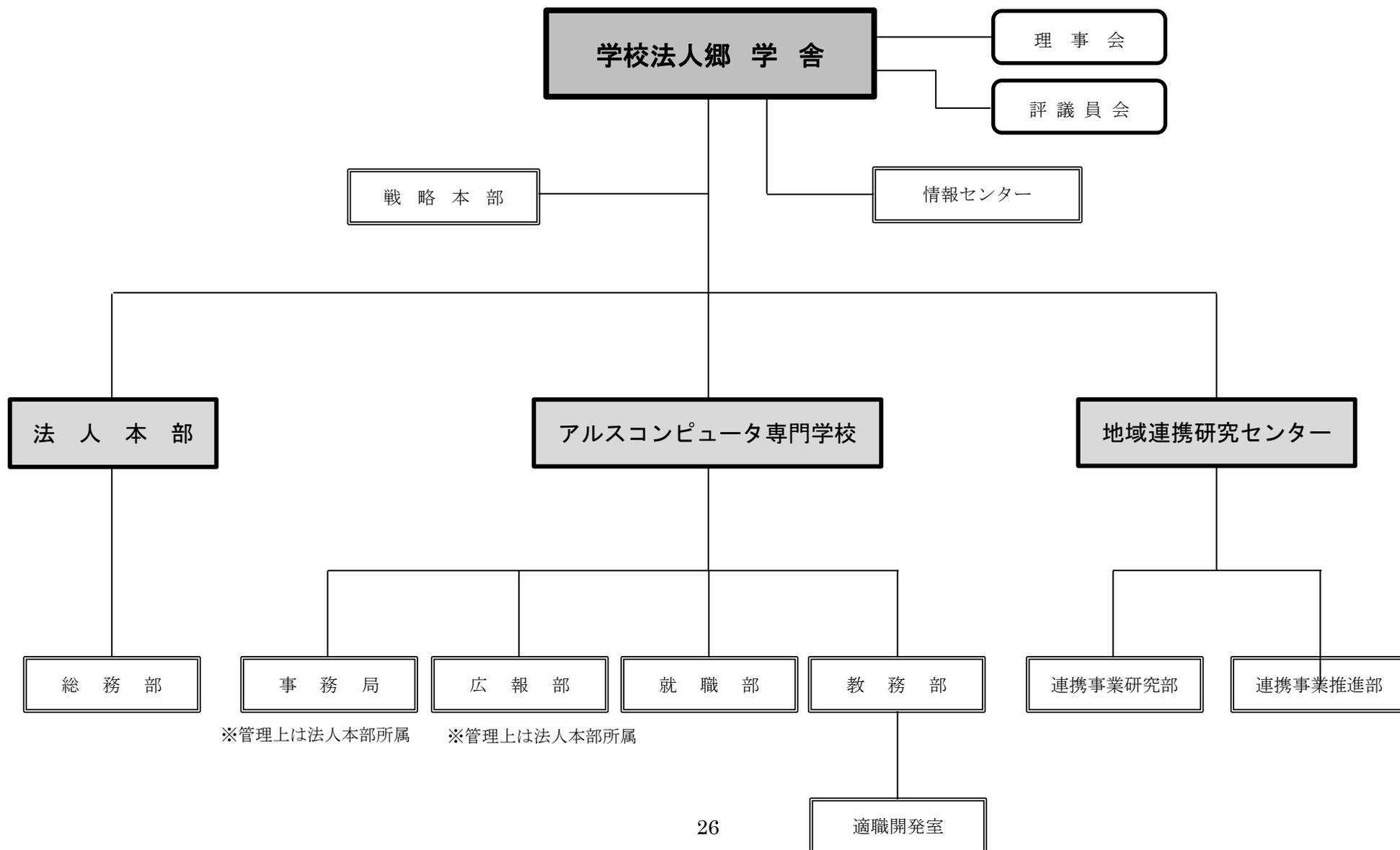
①学校運営の状況に関するその他の情報

1. 福利厚生

スポーツジム、英会話教室の利用が可能。

以上

(図1) 【組織図】



平成25年度資金収支計算書

平成25年 4月 1日から

平成26年 3月31日まで

学校法人 郷学舎
(単位 円)

総括表

収入の部			
科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金収入	279,945,000	279,909,600	35,400
手数料収入	1,810,000	1,801,750	8,250
寄付金収入	125,000	121,000	4,000
補助金収入	8,930,000	8,936,000	△ 6,000
資産運用収入	30,000	28,315	1,685
資産売却収入	0	0	0
事業収入	27,225,000	27,218,842	6,158
雑収入	3,970,500	3,970,320	180
借入金等収入	0	0	0
前受金収入	183,560,000	183,553,518	6,482
その他の収入	38,693,540	38,618,806	74,734
資金収入調整勘定	△ 180,003,600	△ 180,001,064	△ 2,536
前年度繰越支払資金	279,323,672	279,323,672	0
収入の部合計	643,609,112	643,480,759	128,353
支出の部			
科目	予算	決算	差異
人件費支出	156,442,500	156,423,645	18,855
教育経費支出	111,291,000	111,239,879	51,121
借入金等利息支出	2,984,686	2,984,686	0
借入金等返済支出	21,408,000	21,408,000	0
施設関係支出	22,930,000	23,026,810	△ 96,810
設備関係支出	9,854,000	9,848,096	5,904
資産運用支出	0	0	0
その他の支出	41,252,014	41,247,385	4,629
資金支出調整勘定	△ 6,230,000	△ 6,229,385	△ 615
次年度繰越支払資金	283,676,912	283,531,643	145,269
支出の部合計	643,609,112	643,480,759	128,353

平成25年度消費収支計算書

平成25年 4月 1日から

平成26年 3月31日まで

学校法人 郷学舎

(単位 円)

総括表

消費収入の部			
科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金	279,945,000	279,909,600	35,400
手数料	1,810,000	1,801,750	8,250
寄付金	125,000	121,000	4,000
補助金	8,930,000	8,936,000	△ 6,000
資産運用収入	30,000	28,315	1,685
資産売却差額	0	0	0
事業収入	27,225,000	27,218,842	6,158
雑収入	3,970,500	3,970,320	180
帰属収入合計	322,035,500	321,985,827	49,673
基本金組入額合計	△ 53,880,000	△ 53,880,828	828
消費収入の部合計	268,155,500	268,104,999	50,501
消費支出の部			
科目	予算	決算	差異
人件費	156,442,500	156,423,645	18,855
教育経費	132,741,000	132,697,535	43,465
借入金等利息	2,984,686	2,984,686	0
資産処分差額	5,880	5,894	△ 14
徴収不能額	110,000	110,000	0
消費支出の部合計	292,284,066	292,221,760	62,306
当年度消費支出超過額	24,128,566	24,116,761	
前年度繰越消費支出超過額	118,761,948	118,761,948	
基本金取崩額	0	0	
翌年度繰越消費支出超過額	142,890,514	142,878,709	

貸借対照表
(平成25年3月31日)

学校法人 郷学舎
(単位 円)

資産の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
固定資産	657,970,919	646,019,809	11,951,110
有形固定資産	653,838,395	641,100,607	12,737,788
その他の固定資産	4,132,524	4,919,202	△ 786,678
繰延資産	0	0	0
流動資産	289,079,429	280,526,235	8,553,194
資産の部合計	947,050,348	926,546,044	20,504,304

負債の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
固定負債	221,810,585	242,738,585	△ 20,928,000
流動負債	216,172,704	204,504,467	11,668,237
負債の部合計	437,983,289	447,243,052	△ 9,259,763

基本金の部合計			
科目	本年度末	前年度末	増減
第1号基本金	651,945,768	598,064,940	53,880,828
第2号基本金	0	0	0
第3号基本金	0	0	0
第4号基本金	0	0	0
基本金の部合計	651,945,768	598,064,940	53,880,828

消費収支差額の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
翌年度繰越消費支出超過額	142,878,709	118,761,948	24,116,761
消費収支差額の部合計	142,878,709	118,761,948	24,116,761

科目	本年度末	前年度末	増減
負債の部、基本金の部及び 消費収支差額の部合計	947,050,348	926,546,044	20,504,304

監 査 報 告 書

学校法人 郷学舎
理事長 山崎 彰 殿

私は、学校法人 郷学舎の監事として、私立学校法第 37 条第 4 項に基づいて同法人の平成 25 年度（平成 25 年 4 月 1 日から平成 26 年 3 月 31 日まで）における計算書類（資金収支計算書・消費収支計算書・貸借対照表並びに付属明細表）及び法人の業務執行状況について監査を行いました。

監査の結果、私は上記の計算書類は学校法人会計基準（文部科学省令第 18 号）に準拠しており、学校法人 郷学舎の平成 26 年 3 月 31 日現在の財政状態及び同日をもって終了する会計年度の経営状況を適正に表示しているものと認めました。また、法人の業務執行状況に関する不正の行為又は法令もしくは寄付行為に違反する事実のないことを確認いたしました。

平成 26 年 5 月 22 日

監 事 田 代 充 雄 

監 事 持 田 敬 夫 